

(関係部門へご回覧下さい)

ローコストオペレーションのための BPR・事務量分析手法

本コースでは、経営管理手法のベースとなる事務量分析を学びます。

1日目は、事務量分析の概要、事務量調査の方法を総覧します。2日目午前は、金融機関における事務改革検討に向けた、全体戦略から戦術への展開方法、次世代事務プロセス改革、センターの高度化といった主要テーマを取り上げます。また2日目午後は、地域金融機関に対する事務量削減・省力化に関するコンサルティングを通じて得た知見をもとにローコストオペレーションを実現するための手法を学びます。

開催：2018年7月3日(火)～4日(水) 2.0日間
会場：ニッキンホール(東京・市ヶ谷)

講師：(ご講演順) 宮内通彰氏

CMC特別専任講師

日本アイ・ビー・エム(株)

グローバルビジネスサービス事業本部

金融サービス事業部 BKFMインダストリーコンサルティング

アソシエイトパートナー

渡邊由香里氏

(株)NTTデータ経営研究所

金融政策コンサルティングユニット

エグゼクティブスペシャリスト

上野博氏

- 対象者：・金融機関の事務部門、システム部門の事務分析、事務量測定の担当者、管理者の方
・金融機関の企画部門で、原価管理、収益管理、オペレーショナルリスク管理の担当者、管理者の方
・上記部門に協力しているメーカー、ベンダー、ソフトウェアハウスの方

CMC

(Computer Based Management College)

URL: <http://www.nikkin.co.jp/cmc/>

※上記CMCのホームページから、申し込み手続きができます

後援：一般社団法人全国地方銀行協会
一般社団法人第二地方銀行協会
一般社団法人全国信用金庫協会
一般社団法人全国信用組合中央協会

事務分析・事務量測定手法のカリキュラム

【1日目】2018年7月3日（火）10：00～16：00（9:30 受付開始）

日 時	テーマ
10：00 ～ 12：30	<p>I. 「事務量分析・事務量調査の進め方」 CMC特別専任講師 経営コンサルタント 宮内 通彰 氏</p> <p>1. 事務量調査のねらい</p> <p>2. 事務量調査手法の種類とその概要</p> <p>(1) ストップウオッチ法 (2) ワークサンプリング法 (Work Sampling=W/S) (3) P・T・S法 (Predetermined Time Standard=既定時間標準法) (4) 実績記録法 (自己申告法) (5) メモ・モーション法 (6) VTR法 (7) 統計学的手法</p> <p>3. ストップウオッチ法による測定</p> <p>(1) 観測対象業務・事務 (2) 事務フロー分析と事務処理 (手続) の標準化 (3) 観測数の決定 (4) 観測方法 (5) 観測時間の集計</p>
(昼 食)	昼食は、CMCが用意いたします
13：30 ～ 16：00	<p>4. ワークサンプリング法 (W/S) による事務量調査の進め方</p> <p>(1) 事務の定義 (2) W/Sの調査項目とアクティビティ観測数の決定 (3) 調査項目と事務処理件数の把握 (4) 事務量調査の準備 (5) 観測方法と観測時の留意点 (6) W/Sの集計と分析</p> <p>5. 標準時間の設定と人員算定</p> <p>(1) 事務項目 (アクティビティ) 別標準時間の設定 (2) 総事務量算定のための余裕率と付帯事務比率の決定 (3) 事務項目 (アクティビティ) 別事務量 (主体事務 I) の算定 (4) 総事務量と人員の算定 (5) 職位別要員算定 (事例) (6) 事務コストの算定</p> <p>6. 事務の生産性の把握と評価 (まとめ)</p>

【2日目】2018年7月4日（水）10：00～16：00（9:30 受付開始）

日 時	テーマ
<p>10：00</p> <p>～</p> <p>12：30</p>	<p>Ⅱ. 金融機関における次世代事務プロセス改革と検討の進め方 日本アイ・ビー・エム株式会社 グローバルビジネスサービス事業本部 金融サービス事業部 BKFMインダストリーコンサルティング アソシエイトパートナー 渡邊 由香里 氏</p> <p>1. 全体戦略から事務戦略への展開</p> <p>(1) 5Forcesから改革ポイントへの展開 (2) 改革ポイントから全体戦略そして事業戦略への展開</p> <p>2. 事務プロセス改革検討の進め方</p> <p>(1) 営業力強化と事務プロセス改革 営業店の新しい方向性を考える上でのポイント (2) 営業店事務プロセス改革のアプローチ 営業店事務改革の3つの視点と改革のポイント (3) エリア事務へのアプローチ 顧客関連対及び現物への対応 (4) 事務集中センターの高度化へのアプローチ 事務集中センターそのものの更なる改革分析のアプローチ例 (5) 事務改革実現に向けて 営業店人員配置の最適化に向けて</p> <p>3. 終わりに</p>
(昼 食)	<p>昼食は、CMCが用意いたします</p>
<p>13：30</p> <p>～</p> <p>16：00</p>	<p>Ⅲ. 営業店改革の新たなアプローチ～事務改革の向こう側へ 株式会社NTTデータ経営研究所 金融政策コンサルティングユニット エグゼクティブスペシャリスト 上野 博 氏</p> <p>1. 環境変化とその方向性</p> <p>(1) 収益環境の悪化 (2) テクノロジーの進歩と加速 (3) デジタル・トランスフォーメーションへの対応 (4) 銀行の改革の方向性</p> <p>2. 営業店の改革の方向性</p> <p>(1) 店舗を訪れなくなる顧客 (2) デジタルチャネルの普及 (3) 顧客の行動と営業店の役割</p> <p>3. 営業店の実態把握</p> <p>(1) 本部と営業店の認識ギャップ (2) 事務量分析アプローチの特色と課題 (3) 「量」以外の問題点</p> <p>4. 事務改革の向こう側へ</p> <p>(1) 顧客実態の把握 (2) 営業店の役割の再定義 (3) 「効率化」から「レス化」へ (4) 事例紹介 (5) 改革推進のために</p>

032

第93回 金融機関 事務分析・事務量測定コース

ローコストオペレーションのための
BPR・事務量分析手法

ホームページ用受講申込書：2018年7月3日（火）～4日（水）開講

貴社名			
所在地 〒			
連絡責任者			
部署・役職			
TEL		FAX	
	参加者氏名	所属（部・課・グループ）	役職

◆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図をFAX致します。

受講料 A：62,640円（本体価格 58,000円）

（CMC金融機関機械化研究会会員機関および金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員機関）

B：66,960円（本体価格 62,000円） （後援協会会員機関）

C：71,280円（本体価格 66,000円） （上記A,B以外の皆さま）

【問合せ先】 CMC：TEL03-3261-4550 FAX03-3261-4570 まで。

注：（振込先銀行） みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042
 三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1279478
 りそな銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1627070

（名義） 株式会社 CMC 振込予定日（できるだけご記入ください） 月 日

- 受講についてのお願い -

- ・受講料は、できるだけセミナー開催日までにお振り込み下さい。
- ・銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ・銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求番号の下3桁（枝番数）を付してください。振込手数料は、貴機関でご負担をお願い申し上げます。
- ・開催日前、1週間以内のキャンセルはできません。
- ・講演時の録音・撮影および携帯電話・パソコンの利用はご遠慮ください。
- ・諸般の事情により開催を中止させていただく場合があります。

ネットで受講する 「CMCWebセミナー」 受講者募集中！！

CMCでは、インターネットに接続すれば、ご自宅のパソコンなどでセミナーが受講できる「CMCWebセミナー」を運営しています。視聴期間内なら「いつでも」「どこから」でも受講できる Web セミナーです。「仕事の関係でセミナーに出席できない」「自宅で学習したい」「出張での受講は受講料以外に交通費、宿泊費がかかるので費用負担が大変」という人にとってつけのセミナーです。現在、「勘定系システムの基本」（3編構成：約450分）と「企業目利き力養成講座」（3編構成：約160分）の2本のセミナーを提供しています。詳しくは、<http://www.nikkin.co.jp/cmc> にアクセスして、「CMCWebセミナーのご案内とお申し込み」をご参照ください。